

I 学校の教育目標

ふるさとに誇りを持ち、人間性豊かにたくましく生き抜く児童生徒の育成
～学びあい 支えあい みがきあい～

II 育成を目指す資質・能力

聞く力・伝える力

IV 学校評価4点セットの学力の重点目標

主体的・対話的学びを深める児童の育成

V 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」の児童の肯定的評価を85%
「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」の児童の肯定的評価を80%以上

VI 授業改善の取組（「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善）

①授業改善テーマ	主体的・対話的で深い学びを目指す授業
②授業改善の重点	伝え合い、互いの考えを認め合いながら学びを深める授業の工夫

(研究仮説)

授業や行事等で、自分の考えをしっかりと持たせたり、考えを書いたりしたうえで、感想交流や、ペアやグループでの対話的活動を日常的に取り入れれば、伝えあい、互いの考えを認めあいながら学びを深める児童が育つであろう。

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	自分の意見や思いを、書いたり。伝えたりすることができる	授業者は、ペア・グループ学習において考え方を伝え合う時間を1日1回以上授業時に設定する。 大明タイムで聞く力・伝える力に関連した活動を週1回行う。	「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができた。」の児童の肯定的評価を85% 「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」の児童の肯定的評価を80%以上	「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」と肯定的評価する児童の割合91%で達成できていた。 児童アンケート項目「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる」と肯定的評価する児童の割合92%で達成できた。

↓

↓

↓

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期	自分の意見や思いを、書いたり。伝えたりすることができる	「授業で、自分の意見や振り返りを書くことができている。」と肯定的評価する児童の割合85%2学期はA評価回答する児童の割合を80%以上に設定する。 「授業や行事などで、ペア交流や発表、感想発表などができる。」と肯定的評価する児童の割合80%2学期はA評価回答する児童の割合を70%以上に設定する。		

↓

↓

↓

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

III 児童・生徒の課題

児童の課題	学力状況について	学習状況について
児童生徒	○「1月日田市実施分学力調査」では、国語は2学年、算数は4学年が全国平均正答率を下回っている。	○授業や行事等で発表しや感想交流をすることで、伝え合う力がついてきている。しかし、学年にあった発表内容や、話をよく聞いてそれを受けた感想が言えない。 ○学習能力に個人差が大きくあり、個に応じた指導が必要な児童がいる。

VII 学習定着状況の把握とフォローの取組 および

個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

1学年 2学年 3学年	重点的取組	取組指標	評価
			○朝の読書の時間を週3回程度持ち、大明タイムでは国語・算数の基礎定着を図るための学習問題や活用問題、AIドリルの実施を行う。聞く力関連した活動週1回行う。
1学年 2学年 3学年	○朝の時間に読書を行い語彙や文章読解の力を付けたり大明タイム(昼の休憩時間)に、国語・算数の基礎・基本の内容の定着を図る。	○朝の読書の時間を週3回程度持ち、大明タイムでは国語・算数の基礎定着を図るための学習問題や活用問題、AIドリルの実施を行う。聞く力関連した活動週1回行い、継割りで勉強を教えあう時間を設ける。	○

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はプルダウンで選択

家庭	重点的取組	取組指標	評価	1学期	2学期	3学期
				家庭での親子読書の推進	学期に1回、親子読書週間を設定し、読書を通じて親子のコミュニケーションを図る。	○
地域	読書活動の推進	取組指標	評価	月に1回、読み聞かせボランティアを読書朝会で行う。		

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

IX 令和7年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和7年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1~4で入力 (達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値)
	4			

※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

①「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数	授業を公開した教員の割合
	6人	100%
		%

※割合(%)は四捨五入して整数表示

②管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期
	○		

※プルダウンで○、×を選択

③計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期
	○		

※プルダウンで○、×を選択